

# 悔い改め

## 懸念A

悔い改めをする価値があるかどうか確信がない。

- この懸念を拭えるように、モーサヤ26章やほかの聖文から、あなたならどの聖句や原則を分かち合いますか。

アルマ自身もかつては罪深い者であり、悔い改め、救い主イエス・キリストを通して赦しを受けたことを思い出しましょう（モーサヤ11：5-7；18：1-3；26：15, 20参照）。

- この懸念を持った人に、アルマなら何を分かち合うと思いますか。

悔い改めを通して救い主イエス・キリストに心を向けたとき、あなたやあなたの知っている人が経験したことについて深く考えてください。

## 懸念B

なぜ自分の罪を告白しなければならないのだろうか。罪によっては、なぜ神権指導者に告白する必要があるのだろうか。

主はアルマに、罪を犯した者たちは「あなた（神権指導者のアルマ）とわたし（主）の前で罪を告白」（モーサヤ26：29）しなければならないと言われました。

- 主はすでにわたしたちの罪を御存じなので、わたしたちが主に告白することがなぜ重要なのでしょう。告白することで、わたしたちの生活にどのような祝福がもたらされるのでしょうか。

『青少年の強さのために』の小冊子にある次の文と、名誉中央幹部七十人のC・スコット・グロー長老の言葉を読み、わたしたちはどのようなとき、そしてなぜビショップや支部会長に告白すべきなのかについての洞察を見つけてください。



「ビショップは、あなたを含むワードの会員に関して聖霊から啓示を受ける資格を有しています。……ビショップは、親やほかの指導者が与えることのできない方法で、あ

なたが悔い改めの過程を踏めるように助けることができます。……

（ビショップに告白しないと、わたしたちは）救い主に重荷を取り除いていただく代わりに、独りで罪の重荷を背負い続けるのです。」（C・スコット・グロー「ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか？何について告白する必要がありますか？」『リアホナ』2013年10月号, 58-59）

- この言葉は、神権指導者に告白することに懸念を抱いている人にどのように役立つでしょうか。

## 懸念C

主が赦してくださるには、わたしが犯した罪はあまりにも多い。

- この懸念に対して、モーサヤ26：29-30にある主の言葉がどのように役立つでしょうか。（また、1テモテ1：15；1ヨハネ1：9；または教義と聖約18：10-12；58：42-43も研究するとよいでしょう。）
- 救い主の、悔い改めようとする人への気持ちと、彼らを進んで赦そうとされる気持ちを示す聖文の話には、どのようなものがありますか。

## 懸念D

### あなたの選択

人が悔い改めについて抱きそうな、ほかの現実的な懸念や疑問について考えましょう。『聖句ガイド』の「悔い改め」または「告白」の項（scriptures.ChurchofJesusChrist.org）を研究して、助けになりそうな真理を探しましょう。また、『聖句ガイド』で「悔い改め」または「告白」の項（ChurchofJesusChrist.org）に関連する聖句を見直すとよいでしょう。また、小冊子『青少年の強さのために』の「悔い改め」の項を研究し、主について知っていることで助けとなることを深く考えてください。

末日聖徒

イエス・キリスト  
教会